

三、出刊者 外編員 十二回分 廿八卷

二、會 誌 日版市報本報編員本報編輯士

一、日 報 昭和十一年十月二十日（自平發十回一平十報）

大會の報告

るに等しく其の形も式も

合年より式の下、去る二十日、本報編員大會が日版市報編輯士

謝辭會より代出式後、聯合會編員編輯士らより式下、編輯の件

題を陳述し、了本日、十日、編輯會編輯編輯の発表、中央の編輯

の終了、去る式日、二十日、東京の編輯士らより日本後編聯合會編員

會出案、意案後、聯合會編員編輯士らより式下、後編聯合會編員編輯

並來、日本後編聯合會編員編輯士らより式下、後編聯合會編員編輯

代出式後、聯合會編員編輯士ら

財團協調會福岡出張所

財團協調會福岡出張所

四、會場に掲げたスローカン

○資本主義戦争を防止せよ

○労働者災害扶助法の即時實施

○団体協約法の即時實施

○強制失業保険の國營促進

○労働組合法の即時制定

○九州地方労働組合結成大會萬歳

○暴壓諸法令の改發

○國際労働條約の批准並に勸告案の即時實行

○共産主義並にファツシヨを粉砕せよ

五、開會の辭 司會者 西 向 太 郎

今回労働俱樂部が日本労働組合會議に改組されたので吾々も九州協議會を九州地方労働組合會議に改組することになつたのである。